

こんなことを
話し合い
決めました

令和4年第7回定例会は、8月30日(火)から9月26日(月)の28日間の会期で行いました。

条例の改正や補正予算、決算などの議案等が提出され、審査・審議の結果、すべて原案どおり承認、可決、認定しました。

今号では、この中から3件を詳しく紹介します。

今回の議案は26件

※議案一覧は5ページに掲載。

- 報告 …………… 2件
- 承認 …………… 1件
- 条例 …………… 5件
- その他 …………… 3件
- 予算 …………… 2件
- 決算 …………… 13件



TOPIC
01

令和4年度一般会計補正予算(第5号)
物価高騰対策や新型コロナウイルス関連予算を増額

特定地域づくり支援事業などの新規事業や新型コロナウイルス感染症に関する事業、物価高騰に関する支援などを含む一般会計補正予算を可決

6億2,395万7千円を増額し、総額584億2,280万3千円とする令和4年度天草市一般会計補正予算(第5号)は、9月7日の予算決算委員会にて審査を行いました。

今回は、新規事業やコロナ禍における原油価格・物価高騰および新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者への支援のほか、感染予防対策に係る事業が計上され、原案どおり可決しました。

地域づくりの人材の雇用および人材派遣を行う事業協同組合を支援

300万円を新設

内容

市内において、各種産業を今後も持続させるため、事業協同組合設立に向けた動きがある。県の認定を受け特定地域づくり事業協同組合の設立が見込まれることから、派遣労働者の人件費など組合設立に要する経費を支援するため、補正する。

質疑

問 これまでも産業の担い手確保を進めている。現状とこれまでの施策にはどのようなものがあるのか。

答 平成29年度以降の一次産業新規就業者は94人。商工業については平成27年度からアマビズで創業や売上げの支援などを行った。

問 派遣労働者に仕事がない場合の給料は補償されるのか。

答 ささまざまな事業者の繁忙期を組み合わせ、年間を通した雇用を創出する制度である。組合で人件費を負担し、市は原則として給料の2分の1を支援する。



価格が高騰している配合飼料購入費の一部を補助

6,100万円を新設

内容

原油価格や物価高騰の影響を受けている畜産農

家に対する負担軽減と経営安定に向けた緊急的な支援を行うため、補正する。

質疑

問 飼料購入費以外に資材の支援もあるのか。

答 今後、国による助成事業が創設される見込みがあるため、国・県の支援内容を見ながら、必要に応じて支援を検討する。

無給休暇による骨髄ドナーの経済的負担等を軽減し、骨髄移植を推進

40万円を新設

内容

骨髄移植が必要な方に対し、ドナー登録者が骨髄を提供しやすい環境を整備するため、自営業者や無給休暇を取得して骨髄等を提供する本人または事業所に対する助成金を補正する。

質疑

問 市内に白血病等治療中の患者はどの程度いるのか。

答 国民健康保険加入者では、40人ほどの方が治療中である。

問 本事業の申請やドナー登録の窓口は。

答 当該補助金の申請窓口は本市の健康増進課。ドナー登録は献血ルーム、献血バス、保健所で申し出ると手続きができる。



オミクロン株対応のワクチン接種実施に向けた体制を整備

2億1,783万8千円を増額

内容

新型コロナウイルス感染症の予防を目的とし、追加接種(オミクロン株対応ワクチン接種)の実施に向け体制を整備するため、補正する。

質疑

問 この追加接種対象者と、4回目接種の違いは。

答 今回の追加接種は12歳以上で初回接種(1・2回目接種)完了者が対象となる。

これまでの4回目接種対象者は60歳以上、59歳以下の基礎疾患を有する方、医療従事者、高齢者施設等従事者となる。

母子・子育て支援アプリに乳幼児健診の管理機能を追加

346万5千円を増額

内容

予防接種などの管理をしている母子・子育て支援アプリ「ココてらす」に、乳幼児健診の管理機能を追加し、健康管理システムとの連携を図るため、補正する。

質疑

問 アプリ「ココてらす」を選択した理由と、他市の状況は。

答 このアプリは全国シェア60%を占めており、熊本県内45市町村のうち12市町村が導入している。また、他の母子手帳アプリより機能が充実しているため採用した。



▲ココてらすアプリ
QRコード



天草市母子・子育て支援アプリ